

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎学力、基礎基本の定着を目指す。
- 算数科における応用力の向上を目指す。
- 生徒指導・教育相談体制の充実を図る。
- 家庭との連携の向上を図る。

＜本年度の学力向上策＞

- 1 基礎学力・基礎基本の定着
 - (1) 業前の「学力向上タイム」において、基礎基本（読み・書き・そろばん）の問題を中心に行う。
 - (2) 家庭学習の習慣化を図ることができるよう、学年で連携しながら課題等を出していく。
 - (3) 話し合いや伝え合いを取り入れた学習活動を引き続き進めていく。
 - (4) 「さいたま市の授業づくり」の冊子を活用し、4つの因子を意識した授業の実践を図っていく。
- 2 算数科における応用力の向上
 - (1) 学習状況調査の結果を分析し、本校の課題を明確化し、指導方法の工夫改善を図る。
 - (2) 学力向上タイムで重点的な課題克服への取組を行う。（「課題克服応援シート」等の活用）
- 3 生徒指導・教育相談体制の充実
 - (1) 「いのちの支え合い」を学ぶ授業を核とした「SOSの出し方に関する教育」の指導内容を深める。
 - (2) アンケートの実施や講師を招聘しての講演会等を通し、児童の実態把握・指導体制の工夫・改善を図る。
- 4 家庭との連携
 - (1) 懇談会や「生活リズムがんばりカード」等を通じて、生活習慣と学力との相関関係を継続的に家庭に伝えていき、学校と家庭との連携を図る。

＜本年度の振り返り＞

- 4つの因子を意識した授業の実践により、ICTの活用やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践を行うことができた。
- 算数を重点的にした少人数指導、T・Tを実施したことにより、児童の実態に応じた指導や支援を効果的に行うことができた。
- さいたま市内小学校に先駆けて、全学年での「いのちの支え合い」を学ぶ授業の実施、「SOSの出し方に関する教育」の指導体制の充実が図れた。また、100名を超える参加者のもとで研究発表会を開催でき、研究実践を深められた。
- 児童の基礎基本の定着がより一層高まるよう、学力向上タイムの内容の精選を図る。
- 生活リズムがんばりカードや地域学校保健委員会、懇談会等を通して、生活習慣と学力との相関関係を今後も継続的に家庭に知らせていくとともに、家庭学習のしかた等の紹介を通じて、家庭との連携を図っていく。